

製品名: CXCL11 (13J17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09558**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	10kDa

抗原情報

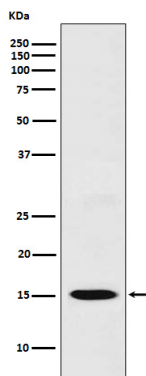
遺伝子名	CXCL11
別名	betaR; CXC11; CXCL11; H174; I TAC; IP9; ITAC; SCYB11; SCYB9B;
遺伝子 ID	6373.0
SwissProt ID	O14625
免疫原	ヒト CXCL11 の組み換えタンパク質

背景

インターロイキン活性化T細胞に対して走化性を示すが、刺激を受けていないT細胞、好中球、単球に対しては走化性を持たない。活性化T細胞におけるカルシウム放出を誘導する。CXCR3に結合します。T細胞の動員が関与するCNS疾患において重要な役割を果たす可能性がある。皮膚免疫応答において役割を果たす可能性がある。インターロイキン活性化T細胞に対して走化性を示すが、刺激を受けていないT細胞、好中球、単球に対しては走化性を持たない。活性化T細胞におけるカルシウム放出を誘導する。CXCR3に結合します。T細胞の動員が関与するCNS疾患において重要な役割を果たす可能性がある。皮膚免疫応答において役割を果たす可能性がある。

研究分野

画像データ



THP1 細胞溶解物中の CXCL11 発現のウェスタンブロット分析。